

実験病理組織技術研究会
第29回総会・学術集会 プログラム

開催日：6月22日（木）1日目 受付：12:00～

開会：[13:00]

総合司会：齋藤美佐江

実行委員長挨拶：五十嵐功

研究発表 I [13:05-13:35] 座長：米澤美恵、袴田志野婦

1. 「 $\alpha 2u$ -globulin 抗原の賦活化に適したタンパク質分解酵素の検討」
○三瀬いずる、国遠かおり、立石湯美
住友ファーマ株式会社 前臨床研究ユニット 安全性第2グループ
2. 「パラフィン切片の保存方法が免疫染色結果に及ぼす影響」
○澤多美和
ゼリア新薬工業株式会社 中央研究所

教育講演 I [13:35-14:40] 座長：萩原孝

『柳田流・免疫染色 総まとめ～基礎・応用・精度管理～』
慶應義塾大学病院 臨床検査科ゲノム検査室
慶應義塾大学医学部 腫瘍センターゲノム医療ユニット 柳田絵美衣

休憩 14:40-15:00

教育講演 II [15:00-16:00] 座長：池田裕樹

『質量分析イメージングとその活用』
株式会社 島津製作所 分析計測事業部 Solutions COE 山本卓志

休憩 16:00-16:10

特別講演 [16:10-17:10] 座長：古川文夫

『吸入毒性試験における病理学的検索事項とその結果：多層カーボンナノチューブの発がん性試験を例にして』
独立行政法人労働者健康安全機構 日本バイオアッセイ研究センター
一般社団法人 化学物質安全性評価研究推進機構 福島昭治

6月23日（金）2日目 受付：9:10～

研究発表Ⅱ [9:30-9:45] 座長：遠藤悦美、宮本由美子

3. 「凍結融解方法の違いによる組織の変化」

○山下渚、大塚茉依、橋本宏美、大熊健司

株式会社ケー・エー・シー バイオサイエンス事業部 受託試験部

賛助企業からの情報提供 [9:45-10:45] 座長：寺尾壽子

1. 「組織切片自動作製装置 AS-410 装置概要について」

○永田大悟

株式会社 大日本精機

2. 「マルチレーザープリンター「Smart Marker」および卓上細胞診標本作製装置「Wise Prep Duet」のご紹介」

○山下律

株式会社 常光

3. 「販売再開！メルクの顕微鏡用染色試薬」

○渡邊彩子

メルク株式会社

4. 「会社紹介」

○永易亜沙子

株式会社池田理化

5. 「全自動 TMA 作製装置による研究効率の最適化について」

○大橋健太

PHC 株式会社 エブレディア病理事業推進室

6. 「デジタルパソロジーに適した病理標本作製を考える」

○大野絢音

サクラファインテックジャパン株式会社

《総 会》 [10:45-11:30] 司会：齋藤美佐江

議長選出

1. 2022 年度活動報告
2. 2022 年度会計報告及び監査報告
3. 2023 年度活動計画
4. 2023 年度予算案
5. 細則の改定
6. その他

===== 昼食 [11:30-13:00] =====

教育講演Ⅲ [13:00-14:00] 座長：中野健二

『創薬モダリティの多様化における病理標本作製及び評価の展望』

エーザイ株式会社 グローバル安全性研究部 関由妃

コントロールサーベイ (PAS 反応) 報告 [14:00-14:50] 司会：望月貴治

- ・アンケート調査報告：明間聡史
- ・評価結果報告：永田百合子

休憩 14:50-15:00

教育講演Ⅳ [15:00-16:00] 座長：渡辺秀幸

『PAS 染色の原理とポイント』

(元)サクラファインテックジャパン株式会社 渡辺明朗

閉会挨拶 副実行委員長：中野健二

閉会：[16:00]